

Windows版 COBOL2002 Developer Professional
COBOLソース解析

ビジネスアプリケーション開発・運用環境
COBOL2002ファミリー

膨大なCOBOL資産の調査で困っていませんか？

このプログラムはどこから呼び出されているのだろう？

このCOPYファイルはどのプログラムが使っているのだろう？

使っていないプログラムがどれだけあるのだろう？



COBOLソース解析がお役にたちます

プログラムの構造や関係を可視化して簡単に資産を調査できます



プログラム
呼び出しを

見える化

プログラムがどこから呼び出されているか可視化。
プログラム間の関係を把握できます。



影響範囲を

見える化

COPYファイルがどこで使われているかを一覧に。
修正時の影響範囲をすぐに把握できます。

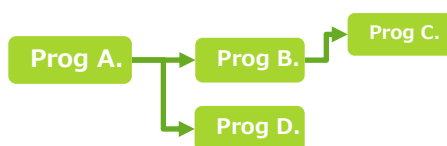


使っていない
資産を

見える化

呼び出されないプログラムや処理が見えます。
資産のスリム化に役立ちます。

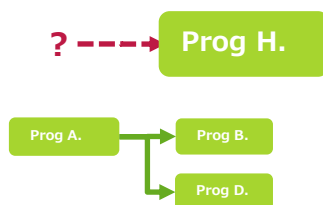
プログラム呼出し関係が見える！



COPYファイル参照が見える！



未使用プログラムがわかる！



プログラム一覧

#	プログラム名	総行数	コメント
1	RC0340_INPUT	10	入力処理
2	RC0340_SET	50	転送処理
3	RC0340_SND	100	出荷処理
4	RC0340_UPD	200	制御処理

プログラム概要

プログラム名 [RC0340_INPUT](#)

総行数 61 有効行数 51

分岐の数 7 セクション数 1

登録集原文一覧

1	RC0340
---	------------------------

呼び出し先一覧

1	ZC0340
---	------------------------

ソース表示

プログラム名 [RC0340_INPUT](#)

```

1 00100000
2 00101000
3 00102000
4 00103000
5 00104000
6 00105000
7 00106000
8 00107000
9 00108000
10 00109000
11 00110000
12 00111000
13 00112000
14 00113000
15 00114000
16 00115000
17 00116000
18 00117000
19 00118000
20 00119000
21 00120000
22 00121000
23 00122000
24 00123000
25 00124000
26 00125000
27 00126000
28 00127000
29 00128000
30 00129000
31 00130000
32 00131000
33 00132000
34 00133000
35 00134000
36 00135000
37 00136000
38 00137000
39 00138000
40 00139000
41 00140000
42 00141000
43 00142000
44 00143000
45 00144000
46 00145000
47 00146000
48 00147000
49 00148000
50 00149000
51 00150000
                    
```

登録集原文概要

登録集原文名 [RC0340](#) コピー元数 4

#	プログラム名	展開場所
1	RC0340_INPUT	ファイル節
2	RC0340_SET	作業場所節
3	RC0340_SND	連結節
4	RC0340_UPD	作業場所節

プログラム階層図

```

graph TD
    GC351_INPUT --> GC351_INPUT_DT
    GC351_INPUT_DT --> GC351_INI
    GC351_INI --> GC351_INI
                    
```

PAD表示

プログラム名 [RC0340_INPUT](#)

実行順序表示

実行順序ツリー

```

PROC-010 SECTION.
IF Y = SPACE
THEN
MOVE W1 TO A
PERFORM PROC-020
PERFORM PROC-030
ELSE
MOVE W4 TO A
PERFORM PROC-040
PERFORM PROC-050
IF Y = SPACE
THEN
MOVE W7 TO A
MOVE W8 TO B
MOVE W9 TO C
ELSE
MOVE W8 TO B
MOVE W9 TO C
END-IF
END-IF
STOP RUN.
                    
```

相互参照で素早くアクセス！

階層図や、ソース表示、PAD表示、実行順序表示も！

データ項目間の影響を調査できる「データ影響波及分析」も併せてご利用ください (COBOL2002 Developer Professional)

「登録集原文」は、COPYファイルと同じ意味です。「PAD (Problem Analysis Diagram)」は、フローチャートに代わる表記方法であり、プログラム構造を表現します。

- バージョン04-70 主な追加機能**
 - PAD表示機能** ▶ **プログラムの制御構造の見える化によるソースコード調査の効率化！**
- バージョン04-20 主な追加機能**
 - プログラム呼び出しの実引数と仮引数の整合性チェック** ▶ **テスト工程前での不良摘出による手戻り防止！**

COBOL2002 Developer Professional 価格表		
製品	内容	標準価格(税別)
COBOL2002 Developer Professional(64) COBOL2002 Developer Professional	COBOL2002の基本的な開発環境の機能に加え、開発・保守の効率を向上する機能を提供します(COBOL2002 Net Developerを含みます)	660,000円～

製品に関するお問い合わせ

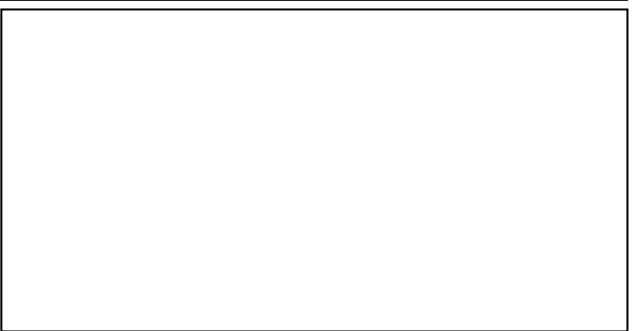
製品に関するご相談は、下記の連絡先までお気軽にお問い合わせください

HCAセンター (Hitachi カスタマ・アンサ・センター)
(フリーダイヤル)0120-55-0504
受付時間:9:00~12:00, 13:00~17:00(土・日・祝日・当社休日を除く)
本センターでの受け付けは、日本国内からのお問い合わせに限らせていただきます。
なお、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。

情報提供サービス

インターネットでCOBOL2002ファミリーの情報を提供しています

<https://www.hitachi.co.jp/soft/cobol/>



・Windowsは、マイクロソフト企業グループの商標です。
・画面表示をはじめ、製品仕様は、改良のため変更することがあります。
・本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、担当営業にお問い合わせください。